

# 公民連携の民間提案窓口がある地方自治体①



自治体 (都道府県)	窓口名称 (設置時期)	所管部署
横浜市 (神奈川県)	共創フロント(2008.6~)	政策局共創推進室共創推進課
岩手県 (岩手)	マッチングシステム(2003.6~)	総務部行政経営推進課
神戸市 (兵庫)	産学連携ラボ(2013.4~)	企画調整局産学連携ラボ
大阪府 (大阪)	公民戦略連携デスク(2015.4~)	財務部行政経営課公民連携グループ
日野市 (東京)	価値共創ポータル (2015.4~)	地域戦略室企画調整課
さいたま市 (埼玉)	さいたま公民連携テーブル(2015.6~)	都市戦略本部行財政改革推進部
桑名市 (三重)	コラボ・ラボ桑名(2016.10~)	市長公室まちづくり推進課
浜松市 (静岡)	やらまいか！民間発案・提案(2017.4~)	総務部政策法務課経営推進担当
茨城県 (茨城)	茨城県公民連携デスク(2017.4~)	政策企画部計画推進課総合計画
大阪市 (大阪)	マルチパートナーシップの推進 (2017.4~)	市民局区政支援室地域力担当企画連携グループ
世田谷区 (東京)	官民連携事業(2017.4~)	政策経営部 経営改革・官民連携担当課
豊島区 (東京)	公民連携推進窓口(2017.6~)	政策経営部行政経営課
菊川市 (静岡)	共創窓口(2018.2~)	企画財政部企画政策課
別府市 (大分)	べっぷ公民連携LABO(2018.2~)	公民戦略室 公民連携課
埼玉県 (埼玉)	Sai-Co-Lo/サイコロ(2018.4~)	企画財政部改革推進課官民連携・行政改革担当
福岡市 (福岡)	mirai@ (ミライアット) (2018.5~)	総務企画局企画調整部企画課
河内長野市 (大阪)	河内長野市公民連携デスク (2018.6~)	総合政策部政策企画課







※ 2020年3月現在 河村・中川調べ 開設時期の順

# 公民連携の民間提案窓口がある地方自治体②



自治体 (都道府県)	窓口名称 (設置時期)	所管部署
松坂市 (三重)	共創デスク(2018.8~)	企画振興部経営企画課
大東市 (大阪)	公民連携のひろば(2018.10~)	政策推進部公民連携推進室
国立市 (東京)	事業者提案事業(2018.11~)	政策経営部政策経営課資産活用担当
新潟市 (新潟)	対話の窓口(2018.11~)	総務部行政経営課
立川市 (東京)	官民連携に関する提案等の受付について(2019.1~)	総合政策部行政経営課
名古屋市 (愛知)	名古屋だいきカウンター (2019.4~)	観光文化交流局ナゴヤ魅力向上室
豊中市 (大阪)	公民連携窓口(2019.4~)	都市経営部創造改革課
四条畷市 (大阪)	新規提案フォーム(2019.6~)	総合政策部魅力創造室
戸田市 (埼玉)	公民連携ファーム(2019.6~)	総務部経営企画課行政改革・公民連携担当
東村山市 (東京)	民間事業者提案制度(2019.7~)	経営政策部資産マネジメント課
西尾市 (愛知)	Cラボ・西尾(2019.8~)	総合政策部企画政策課企画担当
米子市 (鳥取)	いっしょにやらいや(2019.9~)	総務部調査課行財政調査担当
飯塚市 (福岡)	公民連携の窓口(2019.10~)	行政経営部公民連携推進室
富田林市 (大阪)	富田林市公民連携デスク (2019.10~)	市長公室都市魅力創生課
仙台市 (宮城)	クロス・センダイ・ラボ(2019.11~)	まちづくり政策局プロジェクト推進課
生駒市 (奈良)	生駒市協創対話窓口(2020.3~)	地域活力創生部いこまの魅力創造課

※ 2020年3月現在 河村・中川調べ 開設時期の順

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ① 連携のための基盤づくり（連携協定）       |  |
| ② 民間活動への公共リソースのシェア        |  |
| ③ 民間のCSR・CSV活動への協力        |  |
| ④ 公民のリソースを出し合った実証実験       |  |
| ⑤ 市民サービス開発・向上に民間リソースを活用   |  |
| ⑥ 公益のため民間のライセンス・コンテンツをシェア |  |

※ これら6類型は明確に分かれるものではなく、組み合わせられる場合も多いので注意

## 事例紹介

- ・ 民間のリソース、チャネル、訴求力を活かした連携を中心に
- ・ 行政サイドの費用負担なし



# 事例 1

## 「ランチパックの共同開発・販売で農業振興」

山崎製パン(株) × 横浜市環境創造局

横浜産野菜シリーズの展開で、消費を通じた地元農業のPR

### ◆ 概要

横浜ブランド農産物の販路拡大や市内農業のPRのために、使用する農産物の選定や供給方法の調整、包装デザインの調整を両者で連携し、商品を共同開発した。

【ランチパック での横浜産野菜シリーズ】

- ①横浜産野菜のコロッケ&マヨネーズ (※右写真)
- ②横浜産トマトのトマトソース入り夏野菜カレー
- ③横浜産じゃがいものポテトサラダ

※ 現在、これらの製品は販売していません。

ほかにも、横浜産農産物に限らないコンセプトとして、「横浜巡りシリーズ」と銘打ち、「赤レンガ倉庫」をはじめ「ベイブリッジ」や「横浜スタジアム」など、横浜の場所・歴史・文化をテーマにした商品展開も行った。



### ◆ 創出された価値

- ・ 消費者に広く定着しているランチパックという商品ブランドと流通ルートを通じて、横浜の農産物を広くPR
- ・ 市内の農産物を供給できる新たな販路を開拓

キーワード	農業振興	共同開発
	地元野菜を使用	コラボレーション商品

## コラボ製品の拡大

### 地産地消



### 歴史・文化





## 事例 2

### 「商品寄贈による社会貢献活動」 (株)セブン・イレブン・ジャパン × 横浜市社会福祉協議会 × 横浜市 閉店・改装するコンビニ店舗の商品を活用した地域福祉の推進とSDGsに寄与

#### ◆ 概要

セブン・イレブンは、店舗の閉店や改装に伴う在庫商品※を、横浜市社会福祉協議会に寄贈する。

横浜市社会福祉協議会は、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等の支援を行う団体や施設に配分。

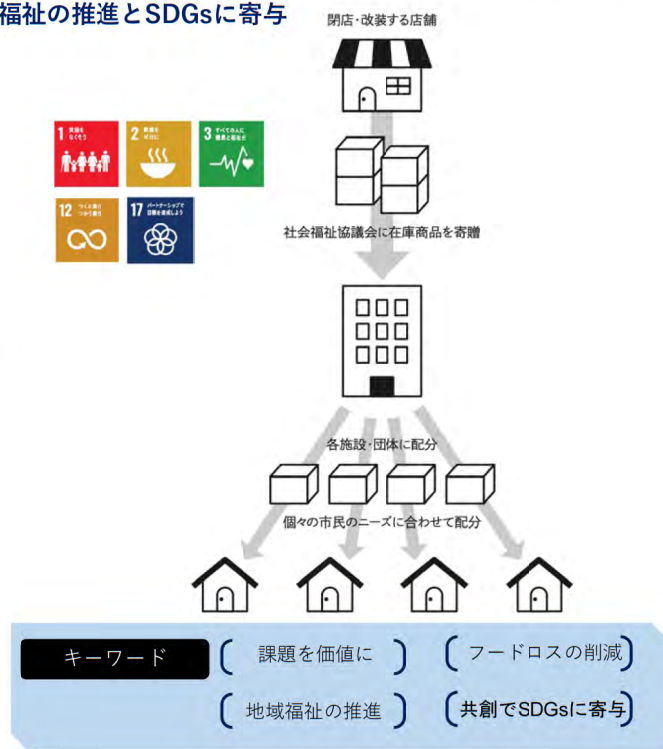
寄贈された商品は、社会福祉協議会を通じて、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者などへ支援を行っている団体・施設などに分配するモデルを組成する。

2018年4月に横浜ではじまった取組は10か月で約2,200箱（53店舗分）が寄贈された。地域づくりへの効果が評価され問い合わせが殺到し、全国に横展開をしている。（2020年2月末時点で28自治体）

※ 在庫商品：閉店・改装時に在庫となった加工食品・雑貨（おにぎり等の日記商品・アイスクリーム等の温度管理が必要な商品等は除く）

#### ◆ 創出された価値

- セブン・イレブンは、店舗閉店や改装時に出る**在庫商品の廃棄が大幅に減少**。
- 社会福祉協議会や横浜市は、**一括大量に・費用負担なく、加工食品や文具等**の雑貨を確保でき、支援団体を通じて**必要な市民に提供**できる。
- 市民は、**生活困窮等の際に支援を受ける**ことができる**物資の量・バリエーションが増加**。



## 事例 3

### 「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」 バンダイナムコグループ × 横浜市 世界に誇るコンテンツ、日本のものづくり、優れた技術力が融合した大規模公民連携イベント

#### ◆ 概要

「機動戦士ガンダム」の高さ18メートルの動く「実物大」モデルを、山下公園横にある山下ふ頭で一般公開する、大規模な公民連携イベントを開催する。

横浜市は、イベントの企画・制作・運営を行うバンダイナムコグループと連携協定を締結し、関係者との調整のほか土地使用や各種許認可など、イベント開催を支援している。

主催者サイドで実施のための資金調達や横浜市への土地使用料の支払いを行う。横浜市は多岐にわたる各種許認可※のほか、グッズや会場内カフェでの地元企業との限定コラボの調整なども行う。

〔※ 土地貸付、構造物建設許可、屋外広告物許可、建築基準条例に基づく許可、開発許可の要否、興行営業許可、消防署の同意、警備計画 など〕

#### ◆ 創出された価値

- 2014年から行ってきた「実物大のガンダムを動かす」という壮大な夢へのチャレンジの集大成を、横浜という地域でのイベントとして実現し、世界へのプレゼンスを高め、都市ブランドを向上させる機会を創出
- 地元商業施設等との限定コラボレーションによるキャンペーンやグッズを展開し、地域の魅力や経済効果を創出



©創通・サンライズ

